
オリ技ノート

ミュウ&ツタージャ&デスピサロ&ジンオウガ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

オリ技ノート

【Nコード】

N6677T

【作者名】

ミュウ&ツタージャ&デスピサロ&amp;ジンオウガ

【あらすじ】

僕のオリジナルを書く所です。詳しくは、「はじめに」を見てください

はじめに(必ず見てください)

オリジナル技ノート、略してオリ技ノート。考えてみたらオリ技が全然なくて…頭の中にも無く…もう(＾q＾)オワタつて感じ。というわけでこれを投稿しました。大体は1人で作り時には他の人の考えも取り入れるとこんな感じですが、皆さん意見をどんどん出してくださいね、それをこの僕が改良しますんで。でもポケモン不思議のダンジョン夢と希望の第何話かは忘れたけどサイコの地獄の大特訓で少しオリ技が出たの知ってる？たしか拡雷弾つてやつ、あれ考えるのに20分位かかりました。しかも自称、認知症(アルツハイマー病)クラスのド忘れをするこの僕が覚えてられるのも1ヶ月ぐらいだし、だからノートに書く事にしたわけ。え？そしたら現実のノートに書いたほうがいいじゃんって？まあ確かにパクられるかもしれないしネタバレもあるかもしれない…だがこんな無名作者なんかのオリ技をパクる人なんかいる？しかも頼んだら使っていていいって言うよ、だから使いたい場合、ちゃんと言ってください、それと使った場合ちゃんとこの僕が考えたとわかるように書いてください(まあ使う人なんて誰1人居ないだろうけどね(笑))

では

武器を使ったオリ技 「双剣」編（前書き）

記念的第1回は双剣を使ったオリ技を考えたいと思います
ではコー

武器を使ったオリ技 「双剣」編

乱舞編

その1

「フレイム乱舞」

説明「炎の力をまとった双剣で連続斬り」

その2

「雷鳴乱舞」

説明「電気の力をまとった双剣で連続斬り」

その3

「トルネード斬り」

説明「自分が回転して竜巻をおこし相手に突進する」

その4

「サイコ乱舞」

説明「念力の力をまとった双剣で連続斬り」

その5

「大地乱舞」
ガイア

説明「大地の力をまとった双剣で連続斬り」

その6

「考え中」

説明「双剣を地面に刺しその間からシールドが出現する」

その7

「」

説明「」

その8

「」

説明「」

その9

説明「」
「」
その
1
0
説明「」
「」

オリ技 「電気タイプ」編（前書き）

体を使ったオリ技の電気タイプ編です

オリ技 「電気タイプ」編

その1

「拡雷弾」

説明「電気をまとった小爆弾を投げて攻撃」

その2

「雷角突き」

説明「電気をまとった角で突進して攻撃」

その3

「雷王ボール」

説明「エレキボールの強化版で少し電圧が高い」

その4

「雷神ボール」

説明「エレキボールの最終強化版で電圧が更に高く直径がでかい」

その5

「雷雲」

説明「相手の頭上に雷雲を作り1分に1度雷が落ちる」

その6

「100万ボルト」

説明「10万ボルトの強化版で電圧が高い」

その7

「1000万」

説明「10万ボルトの2段階強化版で更に電圧が高い」

その8

「1億ボルト」

説明「10万ボルトの最終強化版で凄く電圧が高い」

その9

「雷神竜化」

説明「雷神竜化して能力を大幅に上げる」

説明「」
「」
その
1
0

オリ技 「電気タイプ」編（後書き）

電気系はあまり好きじゃない

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6677t/>

オリ技ノート

2011年10月9日00時47分発行